

議事録

令和6年度第3回 西東京市立向台小学校 学校運営協議会（要点記録）
日時：令和6年11月26日(火) 10時50分～12時40分 場所：向台小学校ランチルーム 出席：青木 秀雄委員、新井 浅浩委員、石沢 直人委員、尾林 和子委員、菊屋 美恵子委員、 鈴木 壮平委員、手塚 葉子委員、備後 亜沙美委員 *小峰 和美委員は一身上の都合により本会を辞任。教育委員会にも届出済。
委員8名全員の出席により本会議は成立 1 授業参観 A グループ(茅野副校長先導)：青木委員、新井委員、石沢委員、尾林委員 B グループ(鈴木校長先導)：菊屋委員、手塚委員、備後委員
2 協議等 議事録は要点記録とする。記録は白石主幹教諭に依頼する。 (1)校長挨拶 ◆子どもたちは落ち着いた姿を見せている。 ◆11月22日金曜日に体育の研究発表を開催。市内外より多数の来校者に参加いただき、お褒めの言葉をいただいた。体を動かす楽しさ、大切さを子どもたちが味わうことができるよう研究を深めた。当日は日本体育大学の白旗教授にご指導をいただいた。研究の成果を評価いただくとともに、教職員の振る舞いや主体的に行動する姿も評価いただき、校長として嬉しかった。 ◆2学期は各学年遠足や校外学習を行った。子どもたちの挨拶や話をしっかりと聞く姿を見ることができ、学校及び家庭での学びを生かしていた。 ◆子どもたち同士の気持ちのすれ違いから、いじめの兆候となるものも見られる。これは子どもたち同士の関わり合いが増えるからこそと捉えている。兆候段階で担任任せにせず、早期対応を行うことにより大きな問題になっていない。解決には時間がかかることもあるが、連携しながら対応に努めている。 【委員より】 ◆素晴らしい研究発表であった。2年間の成果がまとめられていた。 (2) 令和6年度学校評価（児童・保護者アンケート） ◇学校評価とは①教職員による自己評価、②学校関係者評価から成り立っている。委員の皆様からいただく評価は②である。今回は現在の評価の速報値を提示する。2月に学校関係者評価としてご意見をいただく。 ◇児童アンケートについて ◆児童自身の自己評価と捉えている。 ◆多くの項目について肯定的評価が下がった。これは、児童本人の評価基準が上がったからだ と捉えている。 ◆昨年度同時期との比較では、マイナス項目が多い。この原因について考えていく必要がある。

◆挨拶、廊下歩行については、児童自身が課題として捉えている。学校の課題としても捉えている。

◇保護者アンケートについて

◆日々の自分の子どもを通して、また本校に来校して感じた評価であると捉えている。

◆児童の評価と異なり、ある程度の客観性が担保されていると考えられる。

◆肯定的評価について、15項目中12項目で、昨年度同時期よりも上回っている。

◆令和6年度は安全安心な学校を目指している。質問項目6が向上していることが嬉しい。

◆挨拶については、保護者アンケートにおいても3%減であり、課題として捉えている。

➔【委員より】

◆保護者アンケートの回収率についてどう捉えているか。

➔昨年度よりも下がっている。昨年度は紙媒体による調査を行った。今年度は学校連絡メールシステム「すぐーる」を通して調査を行った。今後どのように周知していくのが課題である。また、学校の様子を伝えきれていないとも捉えている。

◆児童アンケートについて、アンケートの数値だけでなく、アンケートの文言を通して児童自身が振り返ることができる。学校として大事にしていることのメッセージとして、アンケートを通して伝えることができると考えている。質問すること自体が評価されるべきである。

➔学校経営方針を受けて、アンケートの文言を変えようかどうか迷ったが、基本的に昨年度との比較を重視して今年度はほぼ変更していない。次年度は学校経営方針に準じた質問項目となるよう検討していく。

◆挨拶に関する数値が低いが、どのように捉えているか。

➔毎朝、校長が校門前に立つようにしている。その際、挨拶を強要するのではなく児童の様子を見守るようにしている。「元気な声で挨拶をする。」という形だけのものにはしたくない。

➔（委員より）挨拶や「ありがとう。」といったお礼の言葉について、今の子どもはしてもらって当たり前と思っていると考える。子どもの時から自分からできるよう、身に付けさせる必要があると考える。

◆質問項目9「学校は、子どもの事故やけがの対応を適切に行っている。」について、否定的評価の原因は何か。救急車を呼ぶ基準があるのか。この質問項目は、否定的評価が0%になることが大切だと考える。否定的な意見の原因を追究することが大切ではないか。

➔頭のけがは病院に連れていくことは基本。状況に応じて救急搬送することとしている。

➔（委員より）否定的意見を選択した方向けに、その理由を問う項目を設定してはどうか。自分の子の場合、とても小さな怪我であっても学校から連絡をいただけてとても安心している。なぜ否定的評価となるのか、その理由を知りたい。

(3)令和7年度学校経営方針について

◇運動会を秋に実施することを軸に、年間計画を刷新していく。教育活動を通して、習得と活用を図ることができるようにしていく。

◆運動会は本番、練習期間ともに熱中症の危険をできるだけ避けるため、運動会は10月下旬に実施。

◆体育的行事だけでなく、文化的行事も大切にしたい。次年度は音楽会、その次の年度は展覧会の2サイクルで考えている。

◆今般、「学習発表会」のように学習の成果を発表する場を設けることが多いが、これは通常の学校公開でも示すことができると考える。よって、音楽会、展覧会のように特化したものを計画したい。

◆令和7年度は音楽会を感染症予防の配慮から12月に実施。

→（委員より）

◆運動会と聞くと、昔ながらの運動会を考えてしまう。現時点で学校はどのような内容を考えているのか。

→昭和の時代のような運動会に戻すことは難しい。コロナ禍の取組を通してよいものは残していく。

◆本校の規模的に、児童、保護者全員が校庭に出て運動会を実施するのは難しいのではないかな。

→内容は今後検討していくが、保護者鑑賞日と児童鑑賞日を分けて実施する予定。紅白の勝ち負けや児童同士の応援は大事にしたい。

◇あゆみ（通知表）について

◆個人面談や日々の様子を丁寧に保護者へフィードバックすることを大切にしたい。

◆大きな行事をしっかりと行い、保護者、地域との連携を大切にしたい。このことを優先的に考えると、あゆみはこれまでの年3回から年2回にしたい。保護者には丁寧に説明していく。なお、学期はこれまで通り3学期制を維持し、1、2、3学期というリズムは崩さないようにする。

→（委員より）

◆あゆみの回数を変更したことについて、学校評価を通して保護者から意見を募るようにしたほうがよい。

◆教員の働き方改革の上で大切だと思う。

◆あゆみの作成時期は午前中の中の4時間授業とするのか。9月末に、通常授業を行いながらあゆみ作成業務を行うとなると、教員の9月の在校時間がとても増えてしまうことが予想される。これでは本末転倒なのではないか。

→評価の区切りをどこでつけるのか、今後検討していく。6年移動教室の日程を変えることはできない。6年担任には負荷をかけてしまうことになる。今後検討していく。

◆7月の個人面談にて我が子の課題を伝えていただき、家庭でフォローしていきたい。その上で9月にあゆみを見ることで納得感を得ることができる。

◆個人面談を大切にしてほしい。評価のフィードバックが重要だと考える。「あゆみがへる＝評価が減る」というイメージを保護者はもっていると考えられる。日頃の状況の評価、形成的評価が大切であるとしっかりと伝えてほしい。

(4)その他

◇朝遊びについて

◆2学期より、毎週木曜日に朝遊びを行っていたが、水曜日にも実施することにした。この点について、次回の学校運営協議会で評価等ご意見をいただきたい。

◇次期 PTA 役員について

◆次年度の役員はすべての役職において立候補いただいた。

➔ (委員より)

◆立候補いただいた方々は、保育園の保護者つながりでコミュニティが確立しているので安心している。

◆「免除権」も立候補のきっかけの一つだと考える。今回は定員を上回る立候補をいただいたが、立候補者は日中勤務をされていることを考えると定員を上回ってもよいと考える。ただし、現在のペースで今後多数の立候補があった場合、免除権がたくさん出てしまい、将来的に PTA の運営が持続できないことも考えられる。

◇冷水器について

◆ (委員より) 令和7年度より、ウォータースタンド社のウォーターサーバーが西東京市内に設置されると聞いている。これは常温水と考える。

➔クーリング機能はあるが、向台の児童の規模を考えると冷やしきれない。途中でぬるくなってしまう。ちなみにこの設置台数は1台とのこと。向台は足踏み式のウォータークーラーを4台設置している。再活用しようと考えたが、メーカーがすでに運営していない。よって新たに設置が必要である。なお一台10万程度とのこと。また、新校舎については、配管の都合で設置することは困難とのこと。よって次年度はとりあえず3台設置でよいと考えている。

◇学校徴収金（教材費等）集金振込方式への以降の進捗

◆新1年生、現1年生、2年生が令和7年1月末までに、現3年生から5年生までが2月末までに口座振替手続きを完了するよう依頼している。

◇ (教育委員会高野統括指導主事より)

◆先週の研究発表は歩いて市役所から学校へ向かったが、下校している児童が元気に挨拶してくれたのが嬉しかった。地域の中で挨拶できる子どもたちがいるという事実を伝えたい。学校では教職員が主に児童を育てているが、地域の中でも育てていただいていると考えている。

以上で本日の協議項目は終了した。

その他、連絡事項について何かあるか。

(特になし)

次回会議開催予定

令和7年2月25日(火) 10時50分から

会議録は作成後に改めて確認していただき正式決定とする。

以上で令和6年度第3回西東京市立向台小学校 学校運営協議会を終了する。